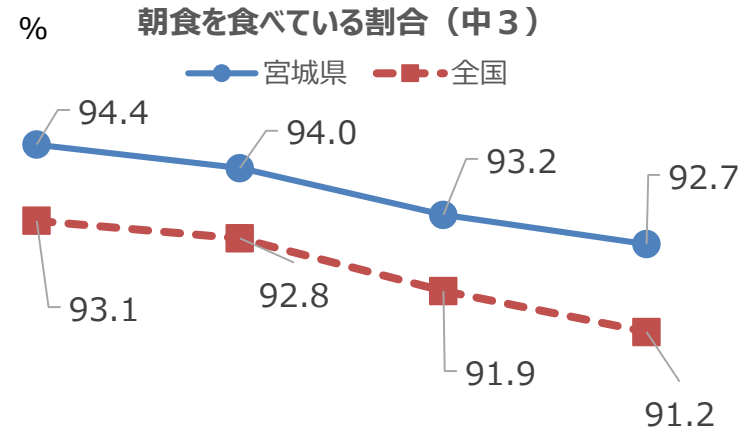
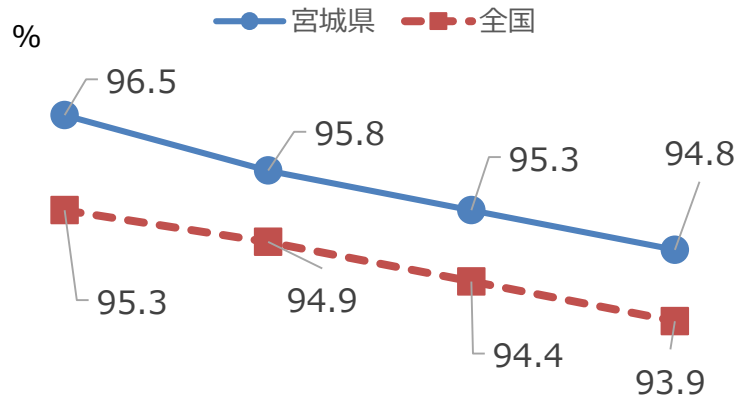


第4期宮城県食育推進プラン目標指標に関する データ集

健康推進課

宮城県の朝食摂取の状況

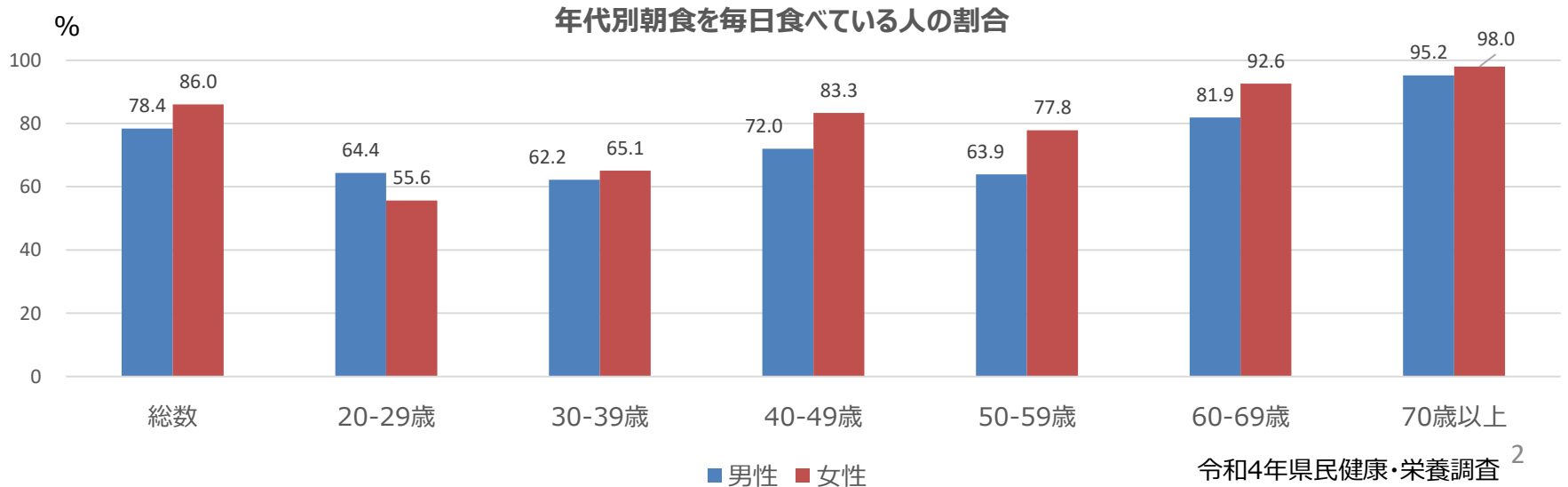
○朝食を毎日食べる人の割合は、減少傾向であるが、小6、中3とも全国値より高い割合で推移している。 **朝食を食べている割合（小6）**



R1 R3 R4 R5
(ベースライン)

R1 R3 R4 R5
(ベースライン) 全国学力・学習状況調査

○朝食を毎日食べる人の割合は20から30歳代で低く、20歳代女性は約5割しか食べていない。



令和4年県民健康・栄養調査²

宮城県の食塩摂取の状況

○宮城県民の一日の食塩摂取量は、平成28年国民健康・栄養調査結果によると男性11.9g、女性9.4gで全国平均より多く、男性は全国で最も多い。

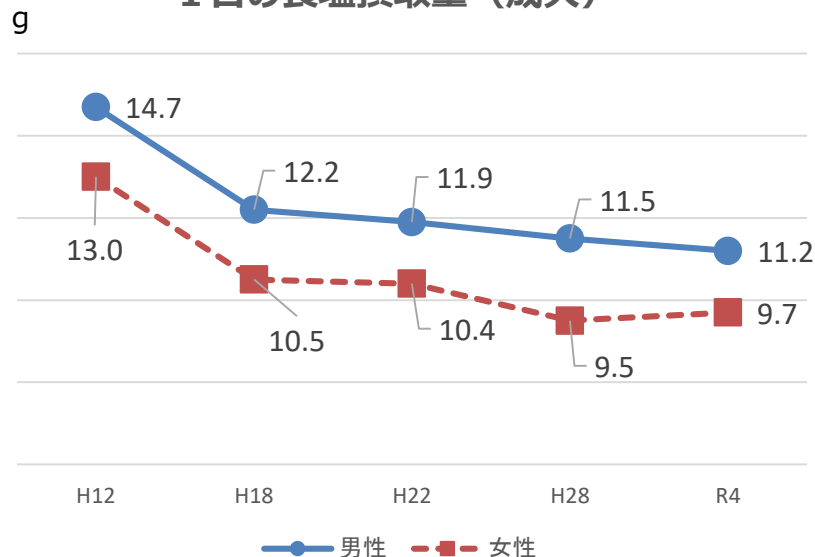
	男性	女性
宮城県	11.9g（ワースト1位）	9.4g（ワースト13位）
全国	10.8g	9.2g

平成28年国民健康・栄養調査

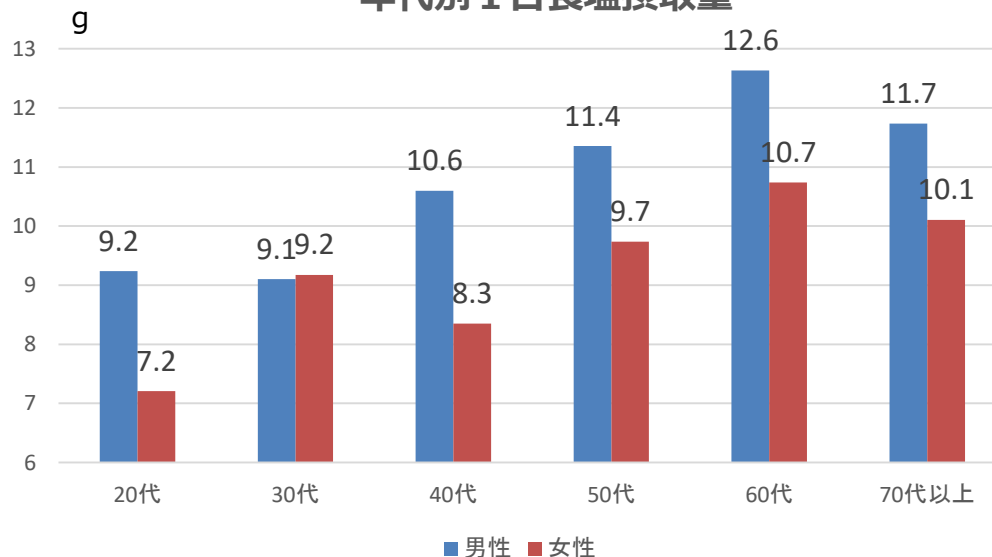
○令和4年県民健康・栄養調査結果によると食塩の摂取量は年々減少傾向であり、平成22年と比較すると男女とも0.7g減少したが、目標値の成人男性9g以下、成人女性8g以下には達していない。

○50歳から70歳代男性で特に多くなっている。

1日の食塩摂取量（成人）



年代別1日食塩摂取量



宮城県の野菜摂取の状況

○宮城県民の一日の野菜の摂取量は、平成28年国民健康・栄養調査結果によると男性332g、女性287gで全国平均より多く、全国10位以内に入っている。

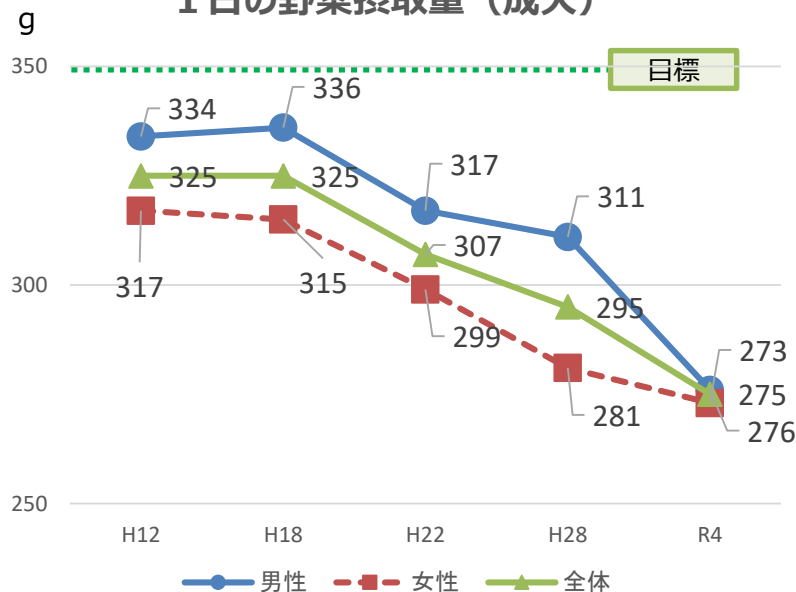
	男性	女性
宮城県	332g (3位)	287g (10位)
全国	284g	270g

平成28年国民健康・栄養調査

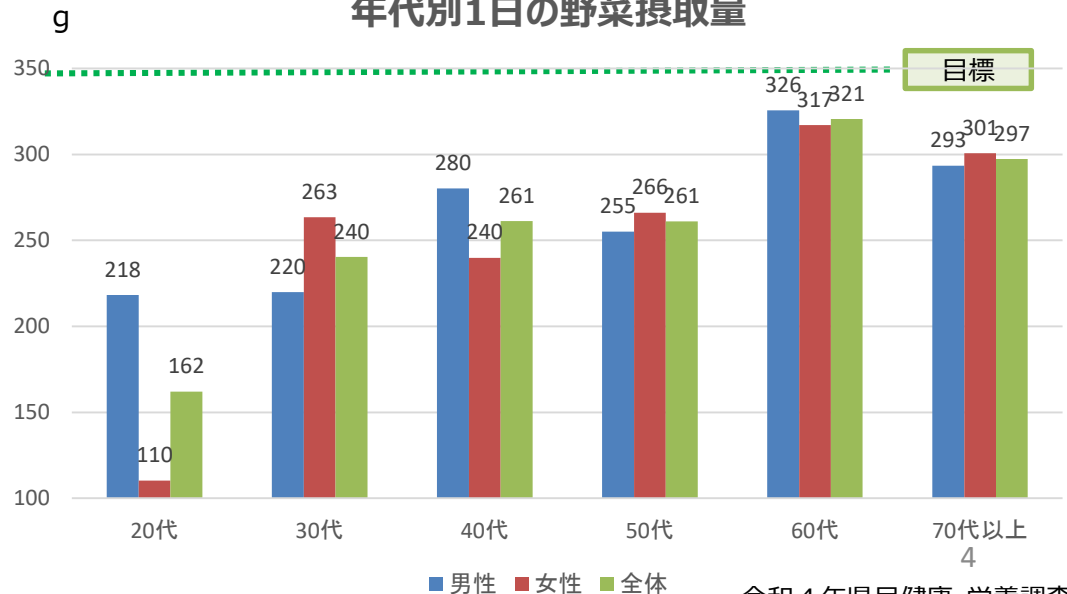
○令和4年県民健康・栄養調査結果によると野菜の摂取量は年々減少しており、平成22年と比較する30g減少した。

○年代別にみると20～50歳代の摂取量が少なく、目標としている350gに対し約100g不足している。

1日の野菜摂取量（成人）



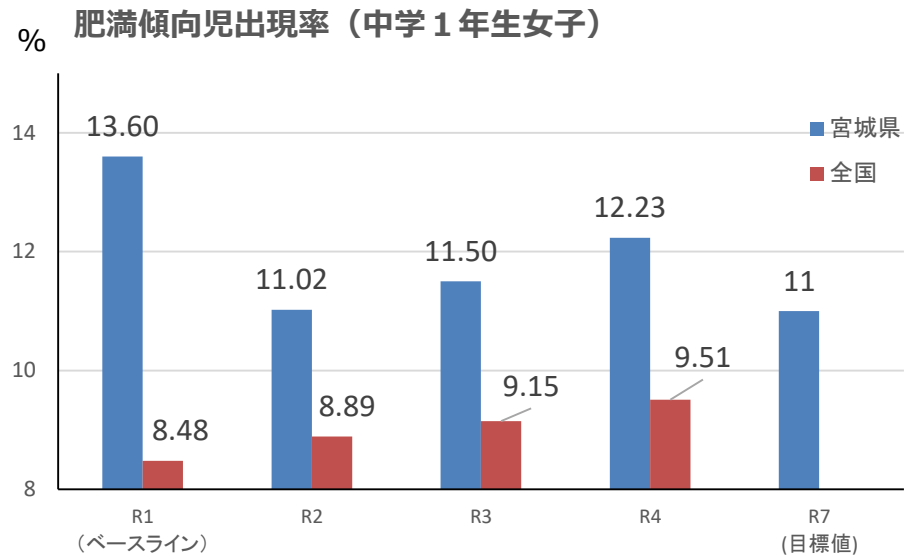
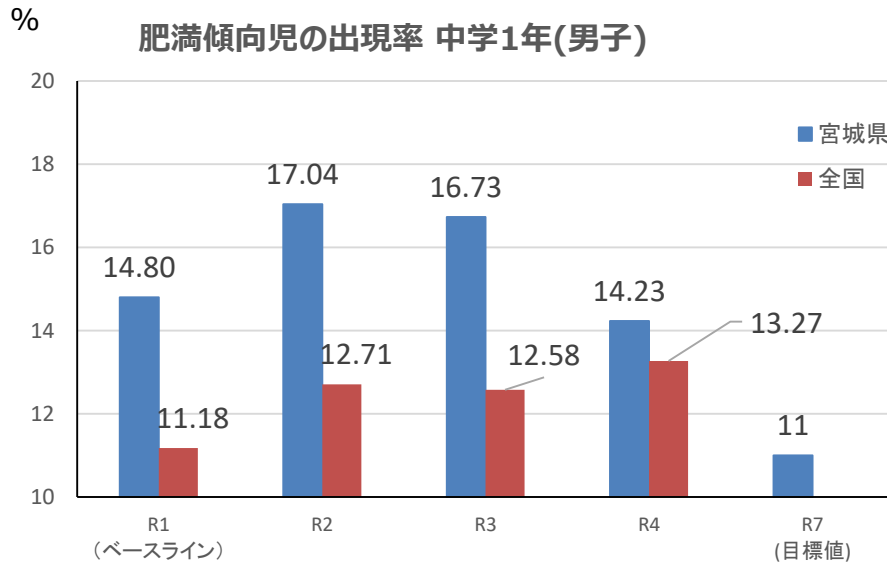
年代別1日の野菜摂取量



令和4年県民健康・栄養調査

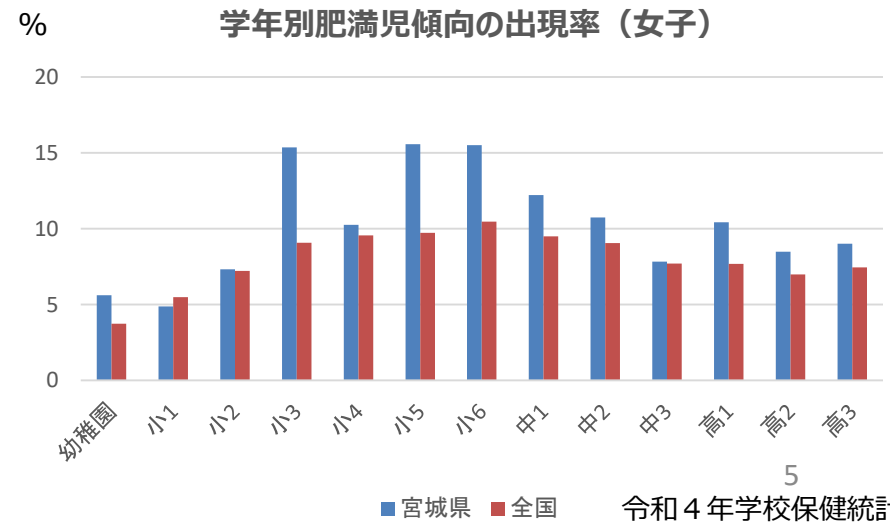
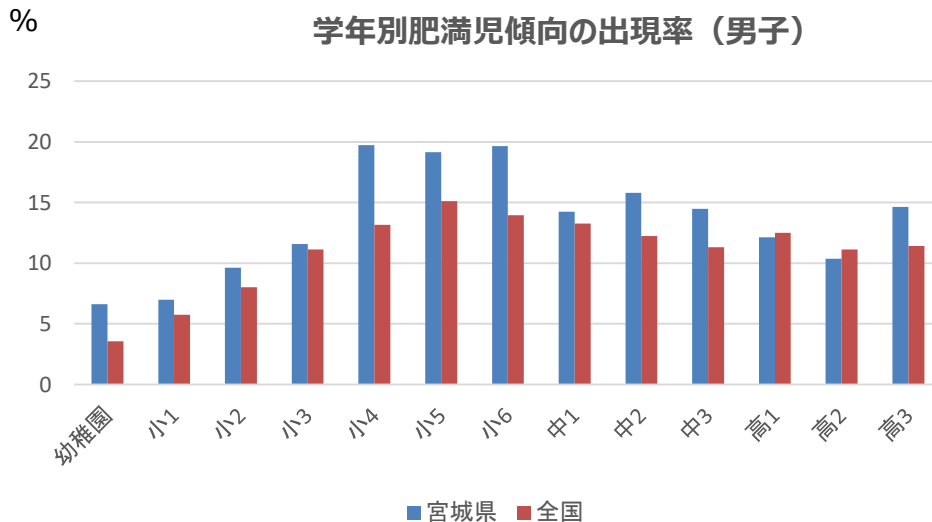
宮城県の子どもの肥満の状況

○ 中学1年生の肥満傾向児の出現率は、男女とも全国値より高い割合で推移している。
 中学1年生の全国順位は男子18位、女子8位。



令和4年学校保健統計

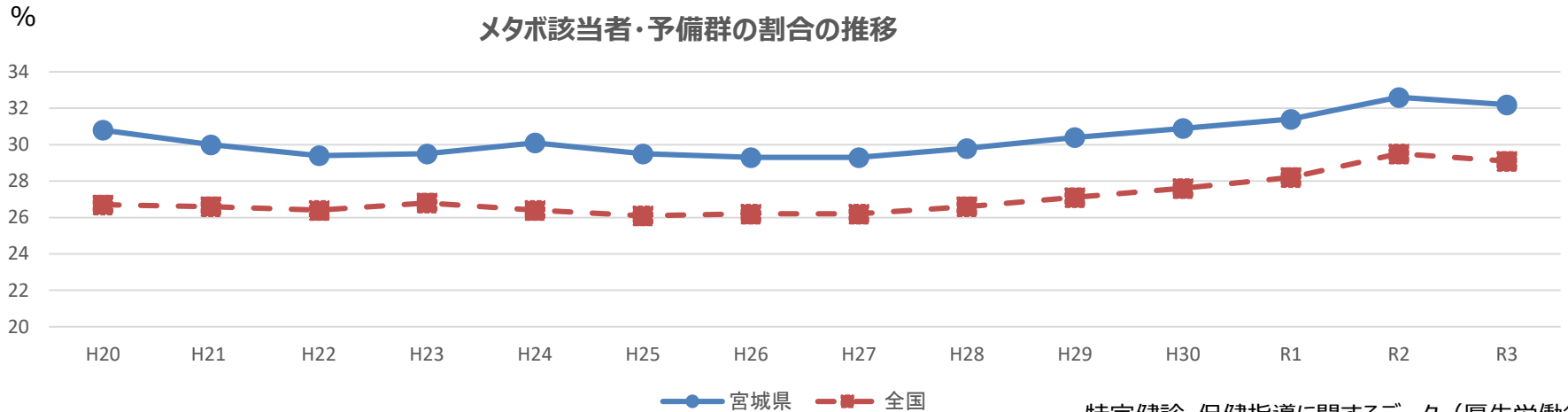
多くの学年で全国値を上回っている。



令和4年学校保健統計

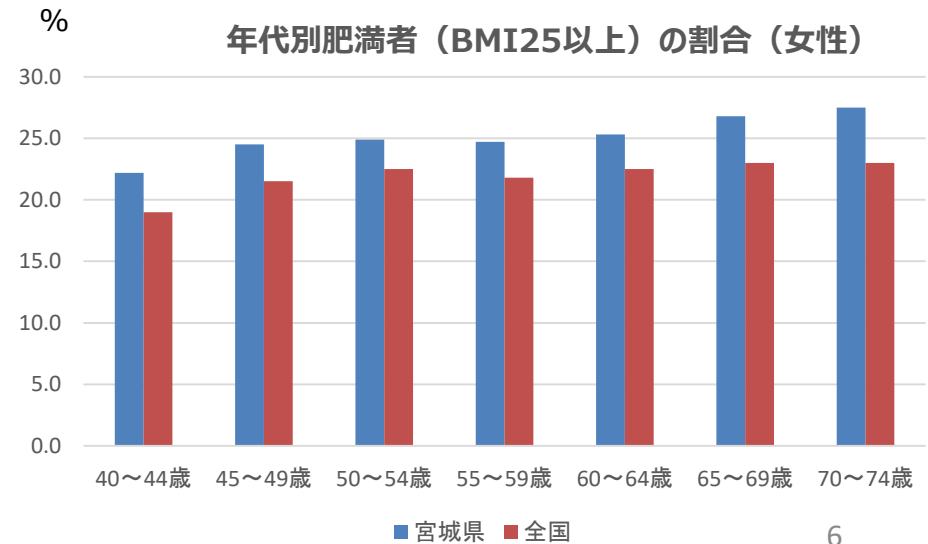
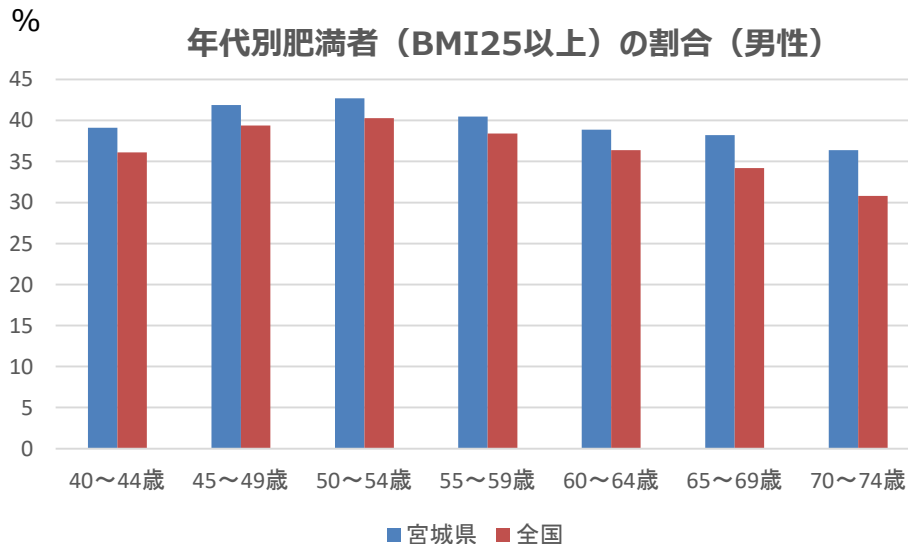
宮城県の特特定健診結果の状況

○メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が全国より高い割合で推移している。
14年連続ワースト3位以内。



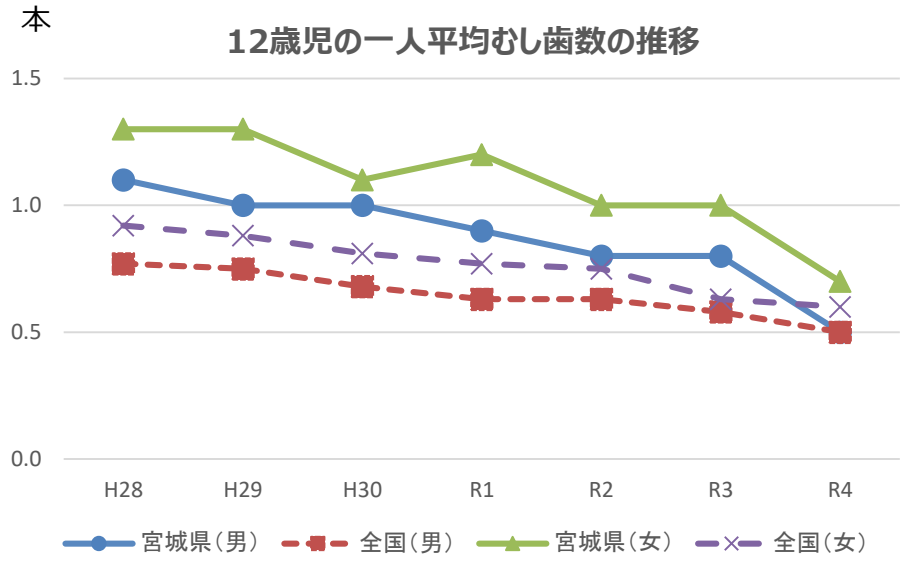
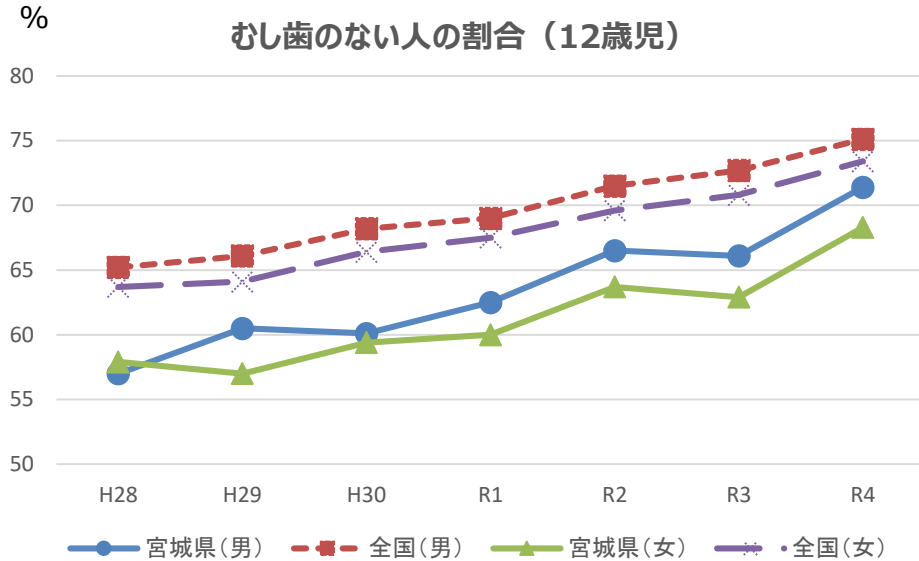
特定健診・保健指導に関するデータ (厚生労働省)

○成人の肥満者は全ての年代で全国値を上回っている。



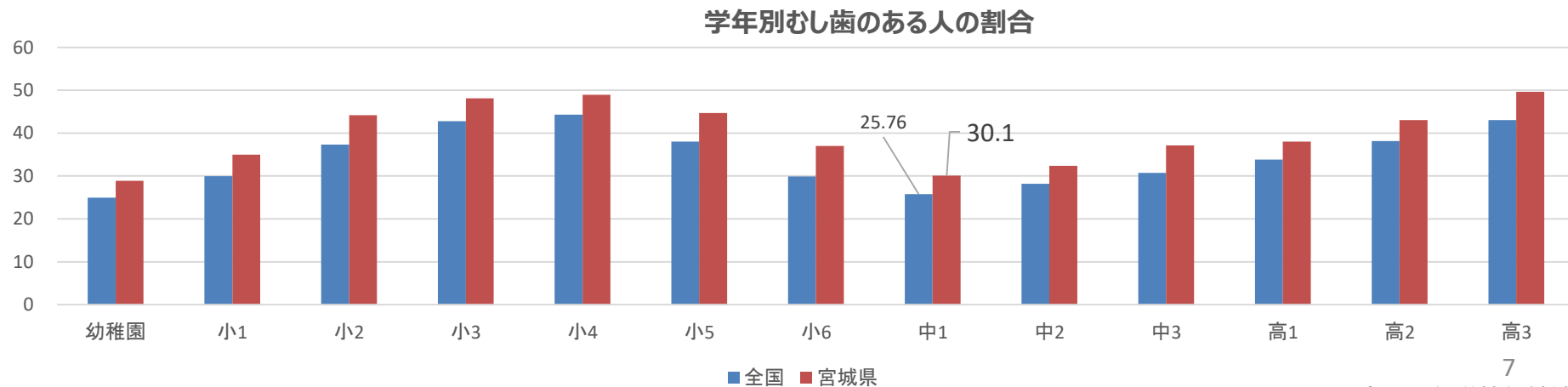
宮城県の子どもの歯の状況

○ 12歳児のむし歯のない人の割合は全国値より低く、一人平均むし歯数は全国値を上回る傾向にある。

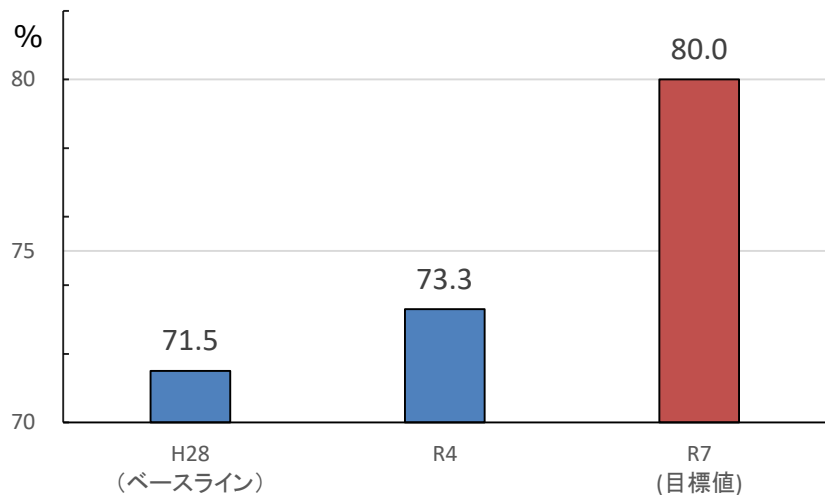


地域保健・健康増進事業報告

○ 全ての学年で全国値を上回っている。

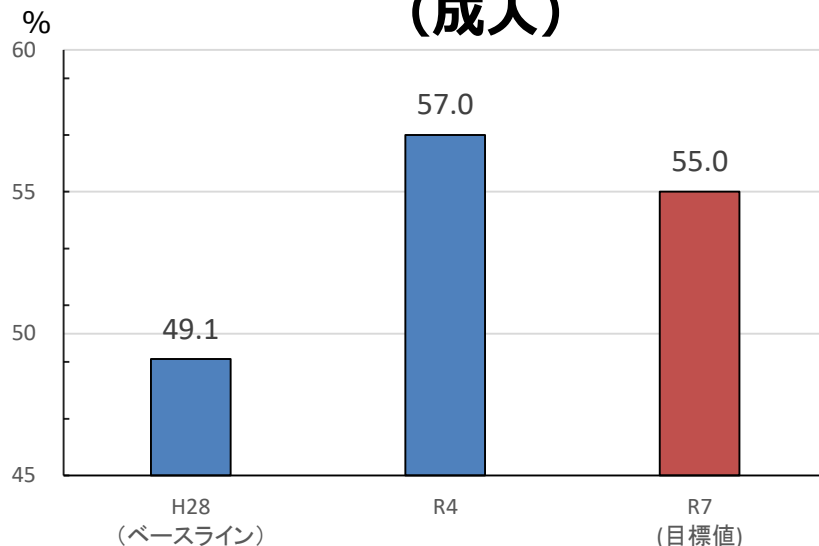


主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合（成人）



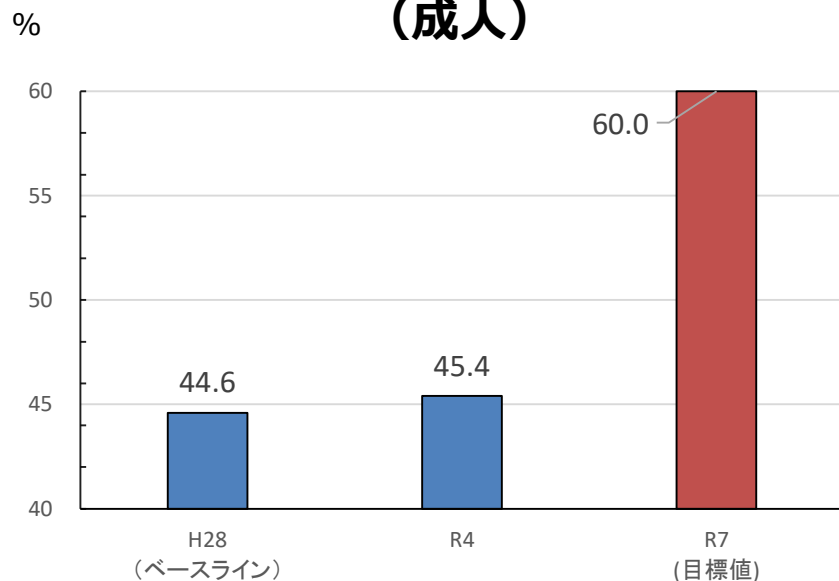
令和4年県民健康・栄養調査

ゆっくりよく噛んで食事をする人の割合（成人）



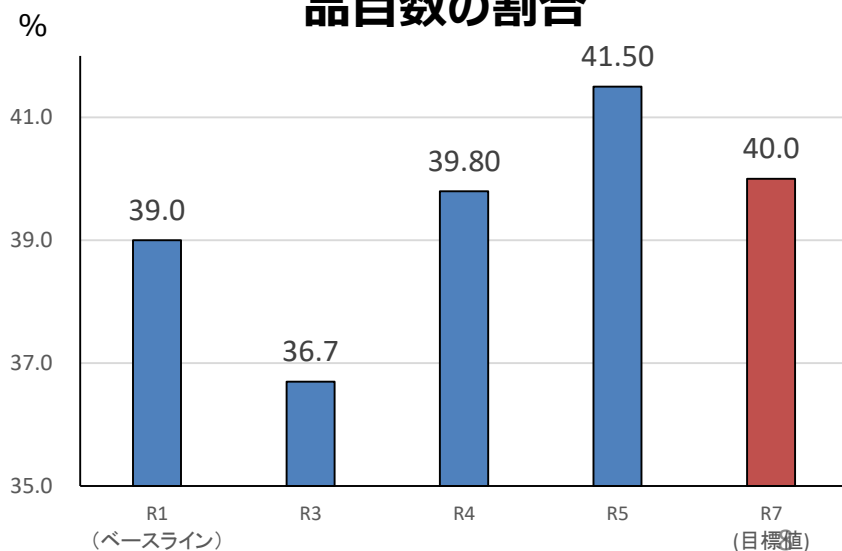
令和4年県民健康・栄養調査

栄養成分表示を参考に行っている人の割合（成人）



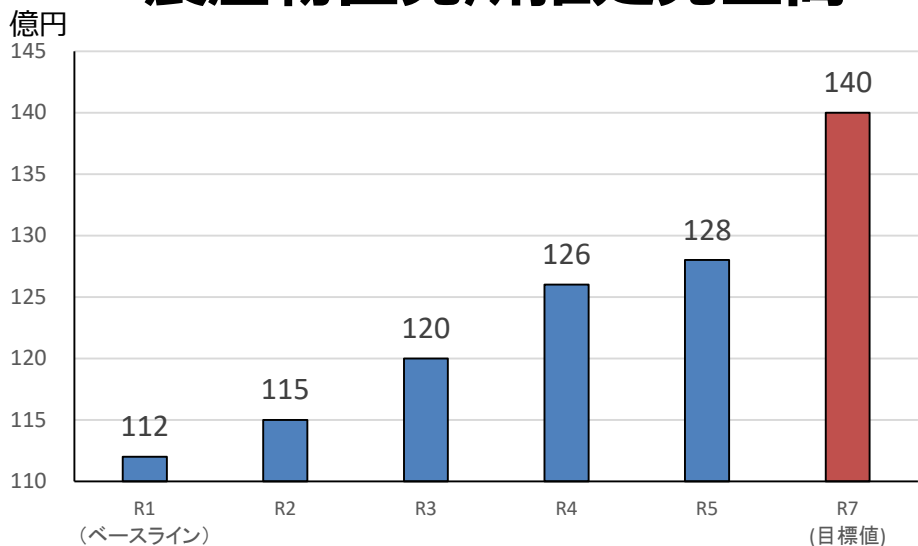
令和4年県民健康・栄養調査

学校給食の地場産農林水産畜産物の利用品目数の割合



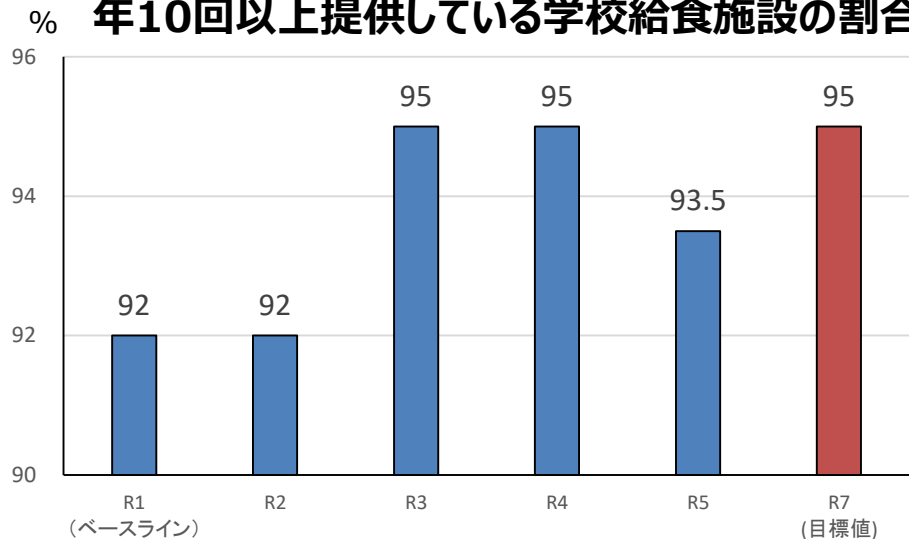
学校給食地場産品物活用状況調査

農産物直売所推定売上高



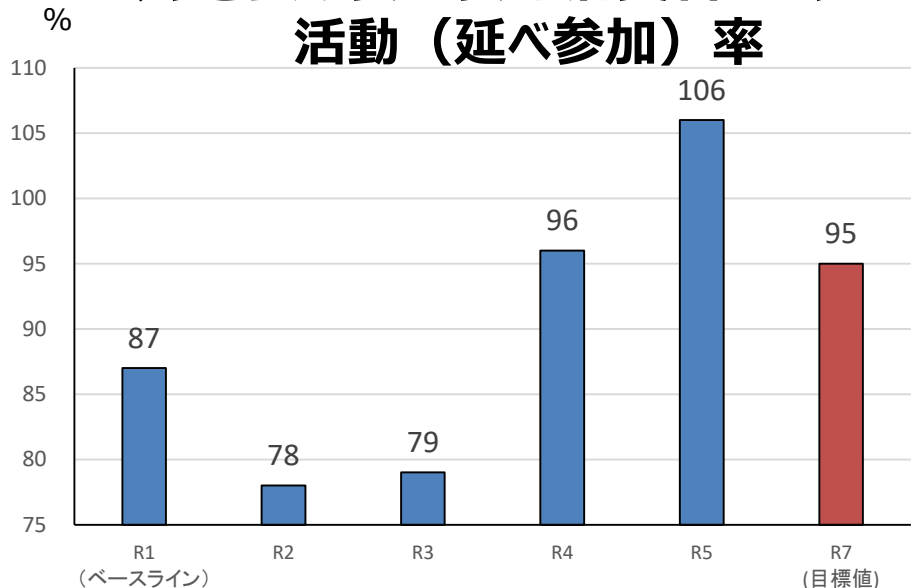
農産物直売所・農山漁村交流施設等調査

宮城県産の食材を使用した郷土料理を年10回以上提供している学校給食施設の割合



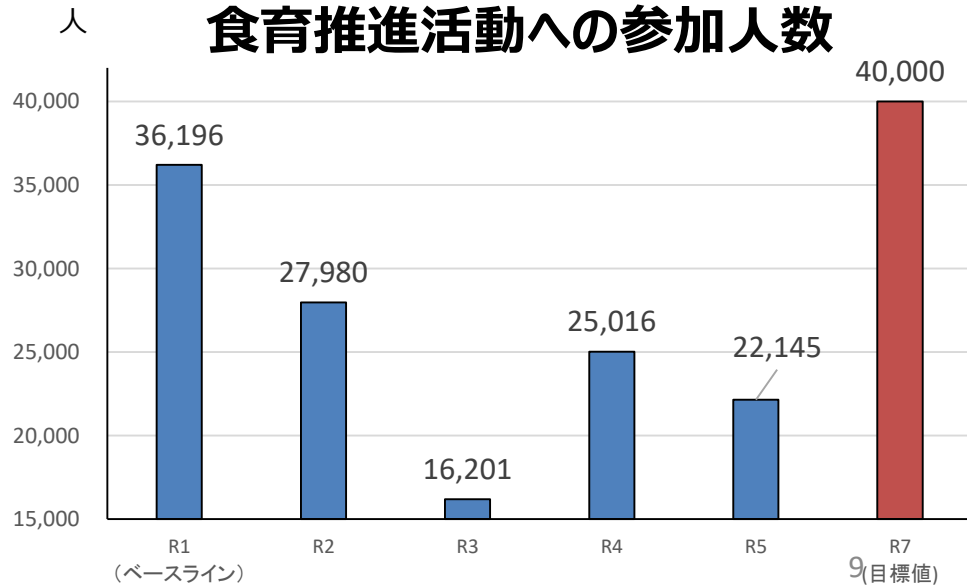
全国学校給食週間実施報告

みやぎ食の安全安心消費者モニターの活動（延べ参加）率



みやぎ食の安全安心モニター制度事業

みやぎ食育コーディネーターによる食育推進活動への参加人数



食育活動の取組状況調査

第4期宮城県食育推進プラン目標値の設定

- 第4期食育推進プランでは、自然災害や感染症の流行等の非常時にも、継続して食事の摂取・提供が行われるよう「食の備え」の充実に向けた啓発を行うこととしています。
- 「災害時に備えて非常用食料を用意している世帯の割合」の目標値については、プラン策定以後に設定することとしていましたが、令和4年県民健康・栄養調査の結果を踏まえ、令和5年度食育推進会議において設定しました。

目標指標項目		ベースライン値	目標値 (R7)	データソース
	策定時	今後把握	今後設定	県民健康・栄養調査
災害時に備えて非常用食料を用意している世帯の割合	設定	51.7%	72.3%	[ベースライン] 令和4年県民健康・栄養調査 [参考] 令和元年国民健康・栄養調査